

# 令和4年度 刈谷市 共存・協働のまちづくり推進委員会 第2回夢ファンド部会 記録

日時：令和4年11月11日（金）

午前10時00分～午後12時00分

場所：刈谷市役所 502会議室

## 出席者

団体名・役職等	氏名
刈谷市民ボランティア活動センター センター長	米田 正寛
名城大学 教授	昇 秀樹
刈谷市商店街連盟 専務理事	柘植 祥史
刈谷市公民館連絡協議会 書記	近藤 路依
NPO 法人刈谷おもちゃ病院 副理事長	長澤 勇夫
一般公募	面高 俊文

## 欠席者

団体名・役職等	氏名
刈谷市女性の会連絡協議会 会計	高岡 育代
防災ママかきつばた 代表	高木 一恵

## 事務局

所 属	補 職 名	氏 名
市民活動部市民協働課	課長	渡部 貴美子
市民活動部市民協働課	課長補佐兼協働推進係長	小原 崇照
市民活動部市民協働課	主事	禰亘田 千穂
市民活動部市民協働課	主事	内藤 佑佳
NPO法人ボランタリーネイバース	副理事長・調査研究部長	三島 知斗世
NPO法人ボランタリーネイバース	理事・事務局長	遠山 涼子

## 1 開会・あいさつ

- (1) 定刻になり、課長補佐兼協働推進係長が開会を宣した。
- (2) 部会長あいさつ

## 2. 議題

### (1) かりや夢ファンド補助金公開審査会について

#### ■資料1、2、募集要項を提示し、公開審査会の進行について事務局が説明

#### (公開審査会)

- ・1月14日（土）13時～17時刈谷市民ボランティア活動センターにて開催。審議は刈谷市社会教育センター301研修室にて行う。

## (応募状況)

- ・NPO 法人設立支援事業は 1 件、まちづくり活動支援事業は 5 件の申請。うち 1 件は申請見込金額 5 万円以下のため、公開審査会の出席は不要。書類のみで採点を行い、公開審査会当日採否を決定する。

### ■質問・意見交換

委員：当日来場者へ事業紹介資料は配布されるか。団体の発表後、2 分の入れ替え時間があるのでスムーズな運営が期待できる。申請額 5 万円以下の団体の審査は、公開審査会当日審査を行うことでよろしいか。

事務局：そうである。

委員：SUHARA MUSIC FES 実行委員会のメンバーに知り合いがある。審査に携わってよいか。

事務局：質問役などは避けて調整する。審査採点は問題ない。

## (2) 申請書類の確認について

**【資料3-1、3-2申請書、募集要項】に基づき事務局より説明を行った後、事前質問に向けた意見交換を行った。**

- ・まちづくり活動支援事業の趣旨は、市民団体などが、「継続」して「自主的に」行う「公益的な」まちづくり活動の手助けとなるように支援するものである。
- ・今回の募集から「同一事業 2 回まで」から「1 団体につき原則 2 回まで」と変更した。募集要項の該当箇所のみ変更し、元となる要綱は改正なし。
- ・まちづくり活動支援事業は、申請が 5 件、申請金額が 850,000 円。5 万円以下の事業の応募が初めてであった。NPO 法人設立支援事業は 1 件、100,000 円の申請であった。

■意見交換を受けて、質疑内容を以下の通り確認した。

### ■まちづくり活動支援事業

団体名	事業名	質問等	※【】内は事務局から回答、□内は委員所感
SUHARA MUSIC FES 実行委員会	第 4 回 SUHARA MUSIC FES	・コラボ 70 補助事業で第 3 回を開催されていますが、その活動実績について、参加団体数、参加者数、ステージの内容、広報の方法、成果などについてご説明ください。 【市観光協会が主催していた KARIYA 洲原音楽祭とは別事業である】 ・1, 2 回目の開催費用はどのように賄われましたか。事業規模も含めてご説明ください。	
元刈谷地区歴史研究会	元刈谷地区歴史関連冊子制作・発行	・冊子の制作部数について、「770 部のうち、360 部を販売」とありますが、残る 410 部の活用について「地域の配布先」とは具体的にどのようなところへ何部ずつ配布しますか。協力団体の元刈谷公民館は、具体的にどのような協力を予定しますか。〔地域の語り部や小学校へ配ってはどうか〕 ・冊子の内容について、これまで作成された資料をまとめて、再編集したものを製本する予定でしょうか。冊子は何ページを予定しますか。 〔・他の地域から移り住む人にとって参考になる。〕	

<p>コーヒーかすの再利用活動 (circulation-beans) 〔書面決議のためプレゼン審査なし〕</p>	<p>“circulation-beans” コーヒー豆のかすからうまれる・つながる・循環するコミュニティガーデン</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーヒーかすを集めて、堆肥にするまでの流れを具体的にご説明ください。また告知の協力先との調整はどの程度進めていますか。</li> <li>・農業に関して詳しく、アドバイスをもらえる協力者はいますか。</li> <li>・事業の運営体制はどのような予定ですか。</li> <li>・地域とのつながりづくり、コミュニティの場づくりの目的にむけて、地域の高齢者や小さなお子さん、ハンディキャップのある方など市民の参加をどのようにつなぎますか。</li> <li>・協働相手の役割について、各団体での実績はありますか。</li> </ul> <p>【すぎな作業所は EM ほかし、いこいプレイスは障害者就労支援事業所として畑を提供する。】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他施設・事業の見学先として、具体的な候補がお決まりでしたらお聞かせください。</li> </ul>
<p>元気な一ツ木まちづくり隊</p>	<p>はっぴ祭り</p>	<p>▼懸念事項：2つの事業は同事業とみなすか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容や手法は同じ部分や似ている面もあるが、対象、趣旨、場所は異なる。地域の活動の場合、手法が限られるため、結果、類似した活動になりやすい。</li> <li>・助成終了後の持続性が懸念される。</li> <li>・元気な地域応援交付金、市の他の補助金と重複受給はないか。</li> </ul> <p>◎結論 募集要項に抵触する事実はなく、別事業として書類審査は通過とする。寄付者・市民への説明責任を果たすため、疑義のある点をプレゼンで確認する。</p> <p>&lt;質問&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案事業の実施において、協力団体も含めて市の他の補助金は得ていますか。</li> <li>・これまでの5回の活動実績について、開催費用はどのように賄われましたか。金額も含めてご説明ください。</li> <li>・「元気な地域応援交付金」の補助を受けて3か年活動した実績・成果をふまえて、今回の提案に至った経緯についてご説明ください。</li> </ul>
<p>スマイルリンク</p>	<p>子ども食堂にお祭りを届けよう</p>	<p>▼懸念事項：2つの事業は同事業とみなすか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容や手法は同じ部分や似ている面もあるが、対象、趣旨、場所は異なる。地域の活動の場合、手法が限られるため、結果、類似した活動になりやすい。</li> <li>・助成終了後の持続性が懸念される。</li> <li>・提案事業の実施のために、市の他の補助金を受けていないか。</li> <li>・お祭りを通じて意識醸成を図る点は有意義である。</li> <li>・「主体的に行う」の解釈について疑義がある。</li> </ul> <p>◎結論 募集要項に抵触する事実はなく、別事業として書類審査は通過とする。寄付者・市民への説明責任を果たすため、疑義のある点をプレゼンで確認する。</p> <p>&lt;質問&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に、事業を継続する展望をお聞かせください。</li> <li>・提案事業の実施において、協力団体も含めて市の他の補助金は得ていますか。</li> <li>・収入費目の「その他助成金」について具体的な助成金名が決まっていたら、申請の予定と確保の見通しをお聞かせください。</li> <li>・1回あたりの開催経費の内訳を事業内容にそって詳しくご説明ください。</li> <li>・協働団体のほっとライスは、提案事業においてどのような役割を担いますか。ほっとライスとの調整はどの程度進められていますか。</li> </ul>

## ■NPO 法人設立支援事業

団体名	質問等 <span style="float: right;">※ 【】内は事務局から回答、〔〕内は委員所感</span>
NPO 法人幸縁 (しえん)	<p>〔ボラセンで相談対応をした実績がある。グアテマラ現地で学習支援を行う。代表者は現地で活動しており、渡航費は自己資金で賄われている。刈谷で活動する人として応援したい。〕</p> <p>〔代表者は青年海外協力隊 OB。国際交流協会主催事業にゲストとして開催した実績があり、継続的に取り組むため法人化した。〕</p> <p>&lt;質問&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付決済管理システムに関する経費内訳、システムを利用する趣旨・目的を詳しくご説明ください。</li> <li>・刈谷市民の参加、理解につながる活動について、具体的な活動予定をお聞かせください。市内小中学校との調整は、どの程度進められていますか。</li> </ul>

## ■まちづくり活動支援事業

### 1) SUHARA MUSIC FES 実行委員会「第4回 SUHARA MUSIC FES」

委員：令和元年度コラボ70 補助金の実績（参加団体・人数・ステージの内容・広報の方法）を説明してほしい。刈谷市民の参加状況を確認したい。

委員：有名なイベントなので、なぜ夢ファンドを申請する必要があるか。第1回、2回目に市の補助はあったか。愛知教育大は関わっているか。

事務局：1, 2回目にはないが、第3回目はコラボ70で100万円を補助した。KARIYA 洲原音楽祭や西三河フォークジャンボリーは別の取組である。大学はボランティアとして関わる。

### 2) 元刈谷地区歴史研究会「元刈谷地区歴史関連冊子制作・発行」

委員：HPを見て、このまま完成すれば問題ない。内容は進んでおり、あとは製本をどうするか。

部会長：自分の地区でも市民便りで、地元の歴史を伝えている。そこから歴史を地元の人たちに知ってもらうことは、地域を愛することにつながる。

委員：元刈谷の歴史は重要である。

委員：冊子のページ数はどの程度か。

委員：HPには52号まであり、各2頁のため100ページほどか。

委員：HP等で公開された内容をまとめて印刷するということか。それを500円で販売する。

事務局：泉田地区も昨年度夢ファンド補助金を活用して発行。500円で販売し完売したと聞く。

委員：印刷製本770部、事業収入が1冊500円で360部、製本代は1冊500円かかる。410冊分は無料で使うという認識でよいか。

事務局：9ページの事業内容に、今後は冊子を地区の施設に、とある。配布するものと思われる。

委員：どこに置くのか、決まっていれば報告に加えてほしい。冊子は、廃棄してしまうケースも結構あるので、明確に分かると納得できる。

事務局：冊子の配布を、元刈谷公民館にお願いしているので、そこからどう展開する予定かをお聞きいただけるとよい。

委員：400冊も置ける場所がない。関係者には無料で配るのか。市内に語り部はたくさんいるので贈呈するとよい。

委員：歴史を知るのはいいことである。10冊ずつを40か所などか。図書館には10冊も必要ない。地区の子どもたちに配るなら、あつという間かもしれない。

### 3) コーヒーかすの再利用活動 (circulation-beans)

#### 「“circulation-beans”コーヒー豆のかすからうまれる・つながる・循環するコミュニティガーデン」

##### ●公開審査会のプレゼンなし

委員：コーヒーかすだけで肥料はできない。野菜くずや葉っぱをいれて1年間かけて堆肥になる。栽培したものの売り上げが1万円と計画しているが、畑をやってもおすそ分けや物々交換で終わる。内容的に実現性が乏しい。畑をやっている人が助けてくれるのならば別。市民参加は誰が、どのように参加するのか説明していただけると納得できる。

委員：P17 課題解決への想い・協働相手の役割分担に書かれている内容は、実績はあるか。たとえばすぎな作業所は堆肥づくりの実績から、アドバイザーを務めるのか。

事務局：すぎな作業所は、EMほかしを作り販売している。いこいプレイスは、障害者就労継続支援B型作業所。利用者と職員が自主的に栽培していて、収穫したものは事業所内で食べている。

委員：EMほかしがあれば肥料になる。

委員：おもしろい取組。実現可能かどうかという点で問題はある。

部会長：コーヒーかすの再利用が目的ではなく、それを手段として、障害者や地域の人とのコミュニケーションを図ることが目的。他のものを混ぜないと堆肥は作れないが、コーヒーかすも大量に必要。それをどういう風に、どれくらいの量を集めて作るか、その工程は実現性があるか、という点を知りたい。コーヒーかすの再利用よりも、それを手段として地域のコミュニティをつくっていくことは発想としてよい。

委員：実績がないため具体的な活動が見えない。

委員：いこいプレイスはどのように主体的に関わるか。

事務局：障害者の就労支援事業所で畑を持っており、提供する。

委員：地域の人と連携して、ふれあう場所としての作業場を提供することがポイント。コーヒーかすを生ものとして捨てないことは大事であり、廃棄物減少にもよい。

事務局：コーヒーかすの再利用を通して廃棄量を減らすことと、地域の人との交流を目的としている。皆で勉強する計画である。

委員：障害者福祉施設で肥料づくりは収益の一つの柱である。企業の食料残りを障害者施設に提供して肥料をつくっている。品質がよく農家で喜んでもらっている事例もある。循環サイクルをつくるきっかけになるとよい。

事務局：いこいプレイスの余暇活動の場である畑を利用し、交通児童遊園の近くの谷にある。副会長の鶴田さんはいこいプレイスの代表。代表者の年齢は比較的若い方である。

委員：畑としては大きな収穫は期待できない土地である。

事務局：ワールドスマイルガーデン（ワールドデン）も外国籍住民との交流の場として運営している。当初に比べて土が痩せて収穫は減っているが、そのこと自体よりは、地域の交流が生まれ、あいさつをする関係づくりに役立っている。今回もコーヒーショップの人と障害者が出会ったり、畑に地域の人に来て障害者と一緒に活動することが、目的の多くを占めている。

委員：農家の人など協力者がいるかを発表してもらいたい。農家の人を整えた畑があれば、経験の浅い人でも植えたり収穫したり体験につながることは期待できる。

事務局：本日の協議をとりまとめ、他の団体と同様に質問票を送付し、書面で回答を得る。その内容をふまえて、1月14日に採点いただく。

#### 4) 元気な一ツ木まちづくり隊「はっぴ祭り」

#### 5) スマイルリンク「子ども食堂にお祭りを届けよう」

##### ■事務局より、事業概要、懸案事項について説明した。

- ・代表者が同じ2団体から申請があり、2団体の事業が異なる内容かどうか、審議をいただく。
- ・事前に聞き取りをした結果、2つの事業は以下のように整理していると説明があった。
- ▶「はっぴ祭り」：一ツ木地区内における各団体の連携強化を図り、地域を盛り上げる活動。
- ▶「子ども食堂にお祭りを届けよう」：子ども食堂の課題解決を図るための活動
- ・申請書の目的や事業内容の詳細は完全に一致しないが、「同一事業ではない」ものの「類似事業」に該当する場合、いずれか不採択とするか、公開審査で審査を行うか、審議をいただきたい。

##### ■上記について、質問、意見交換・質疑応答した。

###### 【同一事業か、別事業か】

部会長：同一の代表者であるが、同じ代表者が、別の団体で、“同じ内容”を申請した際、採択するかどうか。初めてのケースであり、何をもって同じとするか明確な基準はない。ご経験や審査を通じて感じた点を判断基準としてご意見いただきたい。

委員：対象者は異なるが内容・手法が同じである。お祭りの趣旨と子ども食堂の趣旨とは異なるのではないか。子ども食堂に提案事業で一時的な予算をつけても持続性がない。

委員：ほっとライスの子どもの食堂は桜市民館で毎月取り組まれており、活動者の志も高い。食材を支援するグループも多数あり、スーパーの食品提供や農業団体・農家の差し入れ、企業の資金支援など、多くのバックアップを受けており、活動そのものには賛同する。

子どもの食堂の対象になる子どもへの福祉的な支援と、地域の祭りを通じた活性化は趣旨が異なる。2つの事業は客観的に判断すべきものであり、2つのプロジェクトは別である。

委員：事業内容は妥当な部分もある。書き方は変えても同じような趣旨で展開されるのではないかと懸念される。一方で、地域の活性化の目的でできる活動は限られる。内容を精査する中で、目的を見直していく必要があるのではないか。地域の活性化の面では活動展開していただければよい。

部会長：申請内容や予算は同じような内容や書き方が多い。

委員：たまたま代表者が同じ人であって、団体は別。やる気があるから2つの団体の代表をしているだけであり、対象者や趣旨、場所が異なり、内容は一緒ではない。別事業と考えてよい。

委員：違う事業として読んだ。単純に代表者が違えばよいととらえていたが、みなさんの意見から問題をあらためて確認した。

部会長：最終的にはルールの中で明確にならなければ団体に説明できない。不採択とするならば明確な理由を、分からないのであれば、今年度は採択として、次年度以降、新たなルールを設けるなど見直しも必要となる。

###### 【団体の活動実績：スマイルリンク立ち上げの経緯】

委員：スマイルリンクは2022年9月に設立したばかり。子ども食堂での企画運営を主な活動内容としてこれから活動を始めていきたいということだが、実績がなく活動がよく伝わらない。

- 委員：支援を必要とする親子が集まる場へ楽しさを提供するという志はよい。申請するためにこの団体を作ったのではないかと懸念される。
- 委員：子ども食堂を運営するほっとライスが申請者なら分かりやすかった。子どもたちにお祭りを提供すること自体は必要性がある。新たに団体を作って申請した理由が分からない。
- 委員：スマイルリンクの活動者は、ほっとライスの活動に関わっているか。
- 委員：ほっとライスの活動では会ったことはない。
- 委員：申請者がほっとライスで、協働団体はスマイルリンクが実体なのではないか。
- 委員：ほっとライスは実績を積み、地域に認知もされている。

### 【事業の継続性】

- 委員：「元気な一ツ木まちづくり隊」は代表者の活動地域であるため継続は期待できるが、子ども食堂は地域に押し付けているようにも見えてしまう。補助を受けた2年は活動できたとしてもその先の展開が見えないことを心配している。
- 委員：桜地区の子ども食堂に集まる人の笑顔や運営者の頑張りを見ており、応援したい。10月から子ども食堂まつりを始めており、ほっとライスでは、今回の提案ほどお金をかけていない。子どもたちへ楽しさを提供するための申請であるのは分かるが、1回開催しただけで終わってしまっただけではもったいない。
- 委員：コロナ明けで世の中が変化する中、イベントも解禁される流れはある。お祭りの開催は一年限りであっても、参加した人が楽しかったからまた行きたいという意識が芽生えるきっかけになれば、今後も人が集うかもしれない。
- 委員：コロナで閉塞状態にあり、生活困窮世帯が増えていることは事実。子ども食堂のニーズは広まっており、支援する周囲の想いの高まりもある。制度を活かして予算を獲得してお祭りを届けたい気持ちは理解できる。
- 事務局：予算書によると、一ツ木の活動は、事業収入や自治会協力費など自己資金を見込んでいることが確認できる。スマイルリンクは、その他助成金や自己資金の内訳が確認できず、補助金終了後、活動が継続する資金の確保の見込みがない。
- 部会長：事業を支援する取組。立ち上げを手伝って、最終的には自立を促す目的である。
- 事務局：2年目以降、他の主体へ移していく計画について補助対象の発展性・継続性をどのように判断できるか。他の団体に対して展開していく内容があればよい。
- 委員：元気交付金は年間50万総額助成があるが、地域では助成がなければ続けられない事業があり、継続性の評価を得ることは難しいものである。
- 部会長：補助金は活動の最初をサポートするもの。補助金に頼る運営はやめたほうが良い。団体が苦労して、地域や市民の協力を得て、トラックをレンタルしていたら協力者から出してもらえりような支援者を募ったり、力仕事はボランティアが来て、物資は企業から支援を得るなど、支援の在り方を目指していかないと自主的・自律的な活動は難しい。2年間で助走をつけて、飛び立つ継続的な事業となってほしい。税金・寄付を活用しており、意義のあるお金をうまく活用していただけるとよい。

### 【資金計画の確認】

- 委員：スマイルリンクの資金計画について、4か所4回、1か所1回10万円、計40万の予算は妥当か。参考までに桜地区では20万の予算で運営しており、自治会費用と元気な地域応援交付金で賄っている。

部会長：ボランティアへ謝礼を支払うため、金額が多いのではないか。

委員：既存の取組に加えて、補助金を活用して大規模に展開する趣旨か、確認する必要がある。

### 【他の補助金の活用状況】

部会長：市の他の補助金の活用も検討できる可能性を事務局で検討したか。

事務局：生涯学習課「ハツラツかりやっ子育成支援事業」では青少年を対象とした取組に上限10万円を補助する。地域住民で組織する団体と連携が必要である点では、一ツ木まちづくり隊は可能性があるが、会員5名以上の要件に満たないためスマイルリンクは対象外であった。

委員：ほっとライスが、市の他の補助金を受けている場合、重複を避けて別の団体をたてて申請しているケースもありうるが、確認しているか。

事務局：市民協働課から補助はしていない。市から他の補助を受けている場合不可とする規定がある。

委員：補助を受けるために団体を立ち上げたのであれば、議論が必要になる。その点が問題なければよい。今後会員を5名に増やして、他の補助制度を活用した展開も検討いただけるとよい。

### 【「元気な地域応援交付金」の回数制限】

委員：一ツ木の活動は、元気交付金を受けていた。同じ内容で3年が限度であるが、間を空けたら申請できるか。元気交付金に申請できないから、夢ファンドへ応募したのではないか。

事務局：一ツ木の活動は「元気な地域応援交付金」で3年活動が行われており、交付金の活動を終了後も、団体として活動していきたい思いがある。元気交付金の申請内容と趣旨は類似している。秋祭りを上手に展開して、若い人が運営できるよう元気交付金の3年間で育てている。その部分を団体として強化・育てる意図があれば、同じような事業でもまちづくり活動の申請に意義がある。

委員：ルールに抵触しないのであれば、断る理由はない。

### 【「同一事業」に関する要項の規定】

委員：募集要項には不可とする規定はなく、要項に反していなければ不可とするのはよろしくない。要項に代表が同じ団体に関する記述があれば別である。活動時期をずらすなど相談はできても、提案を不可とできない。ただ、4団体中2団体が同じ代表だと疑問に思う人が生じるかもしれないこと、多くの方に広く市民活動してもらいたい趣旨であるので、一人が複数団体をつくって補助を受けるのはあまり良いことではない。今回4団体の申請額は予算内におさまるので、採点で評価する。

委員：同じ代表者が2件採択された結果を市民に公開した場合、おかしいと思われぬか。きちんと体裁を整えて、こども食堂に集まる子どもたちが楽しんで展開してくれるとよい。

部会長：規定上不可とはできないが、同じ代表者が2つの団体で補助受けることに対する市民感情に配慮する必要がある。3年目に手を引くとある点では継続性の評価が下がる。他の補助金の活用に関する情報は、現時点で確認できないため、ルールに反してなければよい。プレゼンでは、継続性や他の補助金の活用、主体的に行う活動として、きちんと説明していただく。

### 【「主体的に行う」事業の要項規定】

事務局：まちづくり活動補助金交付要綱の対象事業として「団体が自ら主体的に行う事業」としている。申請書P34：1年目は団体が主体になり、開催に向けたノウハウ提供、準備、機材貸出等取

り組み、2年目以降はノウハウを移管する展開と提案している。コンサル的な事業に関しても主体的に実施するととらえても問題ないか。

委員：事業後の展望として「コーチングを行う」点について、趣旨が異なると指摘することはできる。補助対象事業に該当しないと結論づけ、断ることも解釈は十分可能である。

事務局：中間支援的な活動として、助言や相談を主体的に行うと解釈することもできる。ただし、実態がどうか確認は必要である。

#### 【代表者の活動実績など】

委員：事務局で直接対応した印象としてはどうか。

事務局：子どもたちのためにとの想いがある。内容については支援したい。公金を扱うため、継続的な活動としての確認をする必要がある。市として採択後ホームページなどで内容を公開する。寄付金・公金を活用する事業として、こんな使い方をして大丈夫かという疑義が生じないような形としたい。

委員：寄付金の使い方は団体側で考えていただければよい。

事務局：採否を決定する立場として、疑義が生じないよう説明責任を果たす。

部会長：以上、協議の結果を受けて、結論を確認する。

- ・元気な一ツ木まちづくり隊・スマイルリンクの2つの申請について、募集要項において不可とする規定はないため、書類審査は通過し、プレゼン審査へ進める。
- ・プレゼン審査では、主体性やほかの補助金、継続性に関する質問をふまえて説明いただき、採点評価する。

## ■ NPO 法人設立支援

### 1) NPO 法人幸縁

#### 【刈谷市内の対象者へむけた活動】

委員：「刈谷市のために」という点で対象者が少ないため評価できるか。

委員：NPO 法人格は認められたとしても、刈谷市として応援するのは難しくないか。

部会長：海外協力としては、WAFCA（アジア車いす交流センター）がある。現地への支援もあるが、市内の人に理解してもらおうといった活動がうまくできるようであれば、国を超えた意識を市民に芽生えさせることができる。

委員：56 ページの設立趣旨で、オンラインでやりとりが記され、以前とは違う交流により、市内の人と交流できる可能性は考えられる。地域でのお祭りほど分かりやすくはないが、オンラインでの交流による人とのつながりづくりは、チャレンジングな取組として応援したい。

部会長：現地の子どもと刈谷のこどもとオンラインで活動した実績がある。

事務局：国際交流協会（世界をのぞこう）とのコラボで、刈谷の児童生徒と、グアテマラとの交流の実績がある。協会の主催だったものを自分たちで今後取り組む。代表者は、現地で先生（青年海外協力隊）をしたことがある。刈谷の子どもたちが現地を知り、感じてほしいという想いがある。

委員：協会として取り組まない理由はあるか？

事務局：協会では色々な方に依頼している。個人で取り組んでいこうと NPO 法人の設立に至った。

委員：WAFCA も同様に、現地タイやインドネシアとオンラインで3か所をつないで現地活動報告会をした。映像を見て、今は何でもできる。採点をどのように考えるかが問題である。

部会長：これからの計画の主たる活動が刈谷の方に軸足を置いた活動を展開していただけるとよい。

委員：申請者には、採点基準を抑えて、しっかりプレゼンするように伝えてほしい。

#### 【代表者の活動実績など】

部会長：代表はNPO法人の設立についてボラセンへ相談に来た。海外で子どもたちの就学指導をやっている。旅費も手弁当である。志が高くて、子どもたちの学習支援をなんとかしたいと活動している。刈谷市にこんな人がいてすごいなと関心した。活動としてはとてもよい。

事務局：代表者は教員から、青年海外協力隊として活動したグアテマラとの関係を深められ、支援団体を立ち上げる。代表は刈谷市在住だが、理事に福岡、監事に神奈川の方がおり、刈谷市の補助金を使うことを心配している。主な活動はグアテマラ支援である。既に行っている市内での活動として、小中学校2校との交流は記載があるので、刈谷での活動をどう深めていくかが課題。

#### 【予算内訳について】

委員：タイミングがあれば、事業を再構成して来年度出すこともできるか。

事務局：今年、設立申請しているため、来年度も申請はできる。今年の申請であれば、今年購入した備品や、クラウドミーティング（オンライン会議システム等）、クラウドファンディング（寄附決済管理システム利用料、以下クラファン）にかかる経費が対象となる。

委員：経費の中に、クラウドの関係費用は、NPO法人設立支援の費用項目の対象となるか。経費の内訳をしっかりと出してほしい。

事務局：インターネット通信費にクラファン費用が含まれるか、当初は想定していなかった費目であり検討いただけるとよい。

委員：今後こうした項目は増えるだろう。大切なのは趣旨がまっているかどうか。クラファンは事業費を増やすために取り組むものであって、集めた資金で市の発展や子どもたちの育成につながるよい活動ができるのであればよい。

部会長：本日意見交換した内容についてもプレゼンの際に理解が深まるよう質問してください。

### (3)まちづくり活動支援事業のプレゼン順について

■公平性に配慮するため、部会長が抽選を行い、プレゼン発表順を以下の通り決定した。

① 元気な一ツ木まちづくり隊
② SUHARA MUSIC FES 実行委員会
③ スマイルリンク
④ 元刈谷地区歴史研究会

## 3. その他

### (1)第3回夢ファンド部会(公開審査会)

令和5年1月14日(土)12時50分集合 刈谷市社会教育センター3階 301研修室  
【審査】13時00分~17時00分 刈谷市民ボランティア活動センター

### (2)まちづくりびと補助金申請状況

・3名より申請があり、事務局審査により採択した。